

令和 3年 喜多見 あんすこ

2021年長月号

花便り

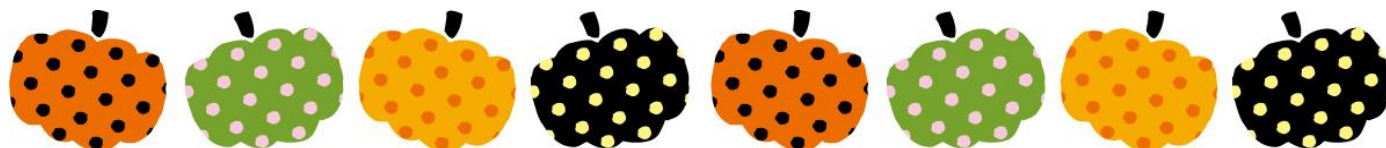
認知症高齢者の家族の会

内容：日頃の介護の思いを話したり、情報交換したり
少人数で気軽にお話しましょう。

対象者：認知症の方を介護するご家族

開催日時：10月8日(金)10時～11時

開催場所：喜多見まちづくりセンター1階活動フロア



いきいき講座

免疫力アップ体操講座

～ラグーマンと一緒に体操しましょう～

開催日：令和3年 10月27日(水)

時間：午後2時～ / 午後3時30分～(2部制)

場所：喜多見まちづくりセンター 1階活動フロア

講師：(公財)世田谷区スポーツ振興財団 健康運動指導士

ゲスト：リコーブラックラムズ東京 ラグビー選手

参加費：無料

対象者：喜多見・宇奈根・鎌田在住の65歳以上の方

募集人数：20名(各回10名ずつ) 9/27～下記あんすこで受付開始!

コロナに負けるな!



喜多見あんしんすこやかセンター
(地域包括支援センター)

 3415-2313 FAX 3415-2314

喜多見5-11-10

午前8時30分～午後5時(日曜・祝日・12/29～1/3を除く)


🏠 住み慣れたところで自分らしく生きるために

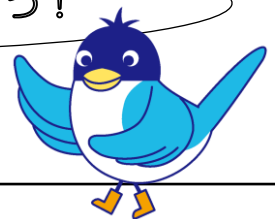
毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と国際アルツハイマー病協会が定めてから今年で28年目を迎えます。我が国では、2025年には高齢者の約5人に1人が認知症になると見込まれています。認知症への理解を深めつつ、認知症の有無にかかわらず同じ社会の一員として住み慣れた地域、自分らしく暮らし続けられるよう、「共生」と「予防」を車の両輪として取組を進めています。

世田谷区では「世田谷区認知症とともに生きる希望条例（令和2年10月施行）」が施行されました。本人一人ひとりが自分らしく生きる希望を持ち、どの場所でも暮らし続けることが出来る地域を作る等を基本理念に挙げています。

「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の出前講座なども行っております。お聞きになりたい方はお住いの地区のあんしんすこやかセンター、認知症在宅生活サポートセンター、介護予防・地域支援課にお問い合わせください。

ハザードマップを見てみましょう！

ほっと一息 



9月1日は防災の日

防災の日とは、「政府、地方公共団体等関係をはじめ、広く国民が台風高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」こととした日本の記念日です。毎年9月1日の防災の日を中心とし、この日を含む1週間を「防災週間」として、防災訓練などの国民活動が行われます。今年の防災週間は8月30日(月)から9月5日(日)まで。

防災の日が9月1日に制定されたのは、1923年に大被害をもたらした「関東大震災」に由来しています。また、防災の日が制定される決め手となった災害が、1959年の「伊勢湾台風」で、明治以降に襲来した台風の中で最も多い犠牲者を出した台風でした。これらの被害を受けたことが、不十分であった防災対策を見直すきっかけとなり、防災の日の制定にもつながったのです。

このところ大雨や土砂災害など毎年のように発生しています。これを機会に、防災グッズの見直し、災害が起きた時の避難場所や避難ルートの確認、わがまちのハザードマップなど、万が一に備えて防災対策をしておくことが大切です。